

教えて歯医者さん!

子どもの歯並びについてII

はは歯クラブ

無料歯みがき指導・相談

1/15・25 (要予約)
問)ゆきなり小児・矯正歯科

みなさん、「態癖」という言葉をご存知でしょうか?

「態癖」とは普段、無意識に行う癖のことをいいます。その癖が長期的に行われる事により歯を動かし、かみ合わせや歯並びに影響を及ぼしてしまいます。特に、小学生は成長期で骨がやわらかくかみ合わせを左右する大切な時期といえます。今回は主な2つの例をご紹介します。

◎頬杖・横向き寝・うつ伏せ寝

これらの癖は、重い頭が顎の関節や顎に影響を及ぼし、かみ合わせがずれたり、顔にゆがみがでてしまう場合があります。

◎指しゃぶり

小学校に入ってもしている場合は問題です。すぐにやめさせましょう。していないお子さんでも、食べ物や飲み物を飲み込むときに、舌を上下の歯に挟むようにして飲み込んでいませんか?いずれも、開咬(奥歯でかんだとき上下の前歯がかみあっていない状態)や出歯などの不正咬合につながります。さらに発音にも影響を及ぼし、特にサ行やタ行の発音がはっきりしなくなります。



みなさんのお子さんはどうでしょうか?このような癖はありませんか?普段、何気なくおこなっている態癖が、このように影響を及ぼしてしまいます。早めに対処できるよう一度ご自身のお子さんをチェックしてみてください。気になる場合は小児歯科専門医、矯正歯科専門医へご相談ください。

ゆきなり小児・矯正歯科

【小児歯科診療、矯正歯科診療、
予防、歯育て健診】

長崎市葉山2-5-26

TEL:095-857-8211



院長 行成哲弘

【資格、学会】

・日本小児歯科学会認定
小児歯科専門医

日本矯正歯科学会、
全国小児歯科開業医会、
日本歯科医師会



待合室横の屋外キッズスペース